

令和4年4月吉日

山下賞2021について

当社では、組織力の向上と設計品質を高めることを目的に社内表彰制度「山下賞」の活動を行っております。

本年度は「その場所にしかない固有の価値を高め、社会の様々な課題に応える建築デザイン」をテーマに議論をし、山下賞（作品）該当なし、特別賞4点を選定いたしました。

山下賞（作品）

該当無し

特別賞（作品）

伊豆の国市斎場「椰の杜」

一関市立東山小学校

グッドマンビジネスパークイーストゲート

日本たばこ産業 医薬総合研究所 横浜リサーチセンター

以上4作品

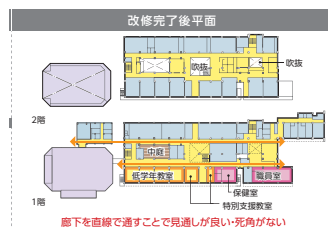
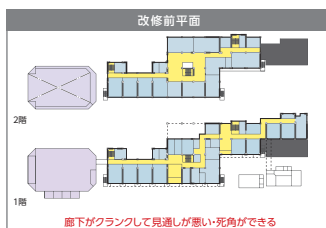
※各作品の詳細は、別紙をご覧ください。

特別賞

一関市立東山小学校



校舎中央に配置した読書ラウンジ 既存スラブを撤去して吹抜空間とした



記憶を残し、理想の教育環境へ改修

岩手県一関市にある小学校の改修である。廊下の在り方を根本的に見直し、生徒と先生にとって、分かりやすく使いやすい校舎へ変化させている。校舎の中心に図書館と読書ラウンジを設け、日常的な読書風景が生まれる環境づくりを行っている。加えて、読書ラウンジは既存の床を撤去し吹き抜け空間とすることで、生徒の集まる場を創出している。

本計画は、躯体以外の建築・設備を全面的に改修する既存部分と、複数の増築部分により構成されている。今後40年間使い続けるために、将来的な使い方の変化や設備改修に対応しやすい計画としている。小学校の全面的な長寿命化改修として、一つのモデルとなる作品である。

所在地：岩手県一関市東山町長坂字東本町

用途：小学校

建築主：一関市

設計者：山下設計 東北支社

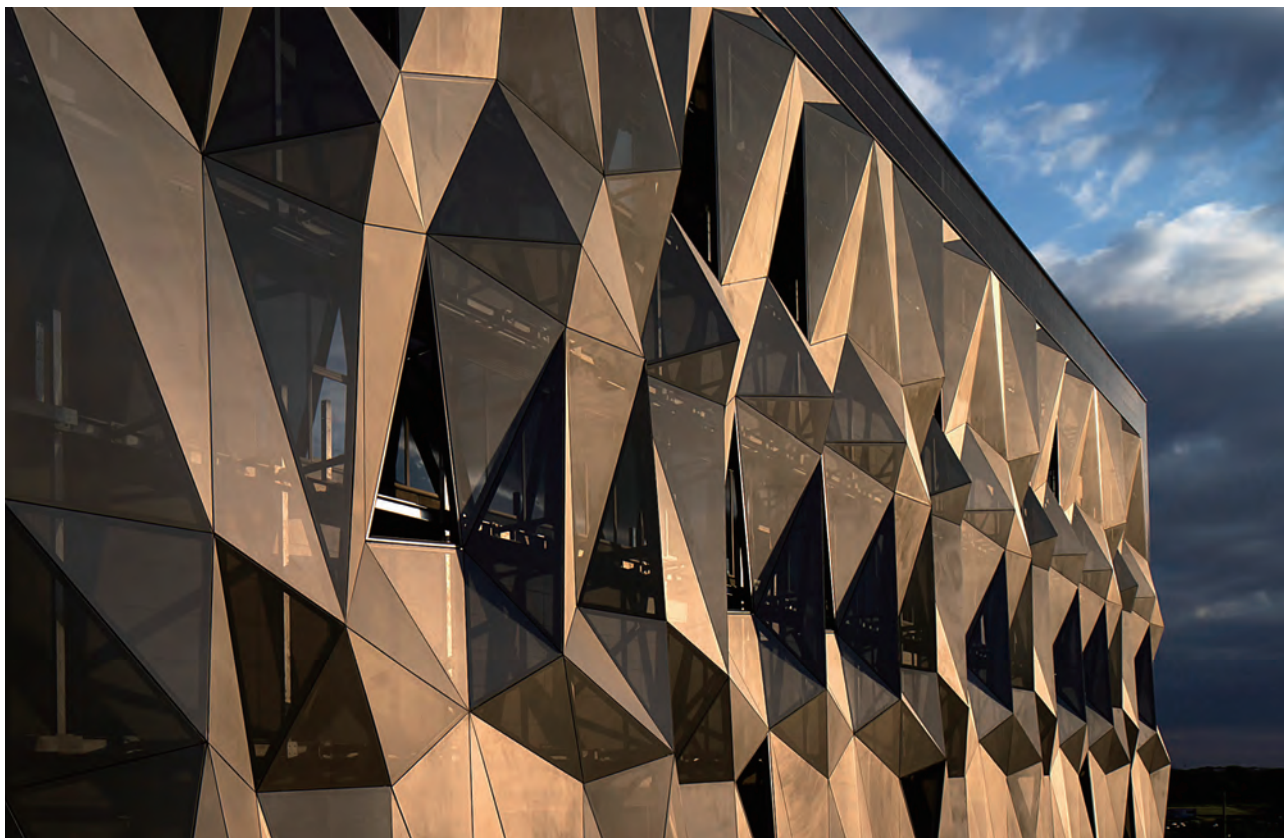
構造：RC造 一部S造

規模：延べ面積 6,327㎡

地上2階 塔屋1階

特別賞

グッドマンビジネスパーク イーストゲート



太陽の光で様々な表情を生む外観（正面ファサード）



建物全体



オフィス内観

フルZEBを取得し、まちづくりに取り組む物流施設

千葉ニュータウンに立つ、物流施設である。照明制御と太陽光発電を用いることで「フルZEB」を取得している。従来の物流施設は「モノ」を主体とした建築であるが、本計画では、「モノ」だけでなく「ヒト」にも重点を置くことで新たな物流施設の方向性を提示している。経済効率が優先され、人々のにぎわいとは縁遠い場所になりがちな物流施設を積極的に地域に開き、まちづくりに寄与するランドマークとして計画している。働く人を地域社会の一部ととらえ、表情豊かな外観とすることで、街に賑わいをもたらす建築作品となっている。

所在地：千葉県印西市鹿黒南
用 途：物流施設
建築主：グッドマンジャパン
設計者：山下設計
構 造：S造
規 模：延べ面積 135,933㎡
地上4階

特別賞

伊豆の国市斎場「椰の杜」



富士山のある風景と共に、地域に根差す斎場



火葬炉前ホール

写真提供：ITイメージング



可動間仕切りにより一体利用が可能な待合室とロビー

富士山と共にあるユニット型斎場

伊豆の国市に建つ斎場である。富士山と共に暮らしてきた地域の人々が、人生の最期まで富士山を感じられることように、葬送のすべてのシークエンスで富士山を望める斎場を実現している。多様な葬礼方法に対応しやすいユニット型斎場を採用し、斜面地生かした合理的な断面計画が行われている。また、大人数でお見送りに集うことが多い地域性を踏まえ、ロビーと待合を一体で利用できるように間仕切りを可動式としている。斎場として利用しない時に、ユニット単位で音楽会やギャラリーとして利用が可能な設えとし、新たな斎場の利用を試みている。

所在地：伊豆の国市韮山多田

用 途：斎場

建築主：伊豆の国市

設計者：山下設計

構 造：RC造 一部S造

規 模：延べ面積 1,537㎡

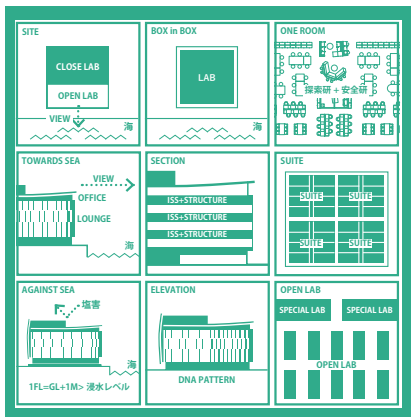
地下1階 地上1階 塔屋1階

特別賞

日本たばこ産業 医薬総合研究所 横浜リサーチセンター



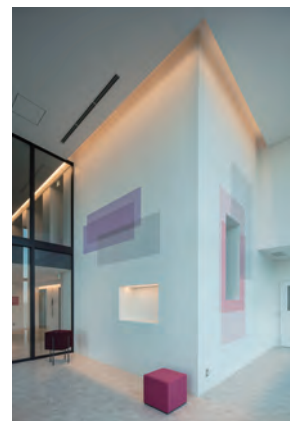
ワンルームの研究居室



9つの設計コンセプト



建物外観



ISSの階高を利用した吹抜ラウンジ

写真提供：大成建設株式会社

所在地：神奈川県横浜市金沢
用途：研究所
建築主：日本たばこ産業
設計者：山下設計（基本設計、実施設計監修、工事監理）
（実施設計：大成建設株式会社）
構造：S造（免震構造）
規模：延べ面積 19,539㎡
地下1階 地上8階 塔屋1階

長く使い続けられる骨太な高機能研究所

既存の2つの研究施設を統合する計画である。海に面する敷地特性と研究施設の機能性を考慮し、9つの設計コンセプトを定め、計画を実現している。ひとつの建物の中で様々な用途の部屋と大きな比重を占める設備が、それぞれに適した構造を用いて、技術的に高いレベルで統合されている。長く使い続けられる骨太な骨格を持った建築を実現している。